

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【公表番号】特表2017-524757(P2017-524757A)
 【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報2017-033
 【出願番号】特願2016-572327(P2016-572327)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)
 C 0 9 J 11/08 (2006.01)
 C 0 9 J 133/04 (2006.01)
 C 0 9 J 7/20 (2018.01)
 A 6 1 F 13/00 (2006.01)
 A 6 1 F 13/02 (2006.01)
 A 6 1 L 24/00 (2006.01)
 A 6 1 L 24/08 (2006.01)
 A 6 1 L 24/04 (2006.01)
 B 3 2 B 27/00 (2006.01)
 B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 201/00
 C 0 9 J 11/08
 C 0 9 J 133/04
 C 0 9 J 7/02 Z
 A 6 1 F 13/00 3 0 1 M
 A 6 1 F 13/02 3 1 0 J
 A 6 1 L 24/00 2 4 0
 A 6 1 L 24/08
 A 6 1 L 24/04 2 0 0
 B 3 2 B 27/00 M
 B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】
 【提出日】平成30年6月11日(2018.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一つの接着剤成分と、
 5%～40%の少なくとも一つのゲル化剤と、
 5%～40%の少なくとも一つの非ゲル化崩壊剤と、
 を含む、接着剤組成物。

【請求項2】

前記接着剤成分は、感圧接着剤、溶剤系接着剤、および/またはアクリル接着剤である
 請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記ゲル化剤は、(i) カルボキシメチルセルロース、(i i) 超吸水性ポリマー、及び(i i i) (i) 及び(i i) の組み合わせ物からなる群から選ばれる、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記非ゲル化崩壊剤は、(i) 完全にアルファ化されたジャガイモ澱粉、(i i) 微結晶質セルロース、及び(i i i) (i) ~ (i i) の任意の組み合わせ物からなる群から選ばれる、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

少なくとも一つの付加添加剤をさらに含む、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

少なくとも $2000 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の流体処理能 (F H C) を示し、好ましくは $2200 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の流体処理能 (F H C) を示し、さらに好ましくは $2400 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の流体処理能 (F H C) を示し、より一層好ましくは $2600 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の流体処理能 (F H C) を示し、特に好ましく $2800 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の流体処理能 (F H C) を示す、請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

少なくとも $800 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の水蒸気透過率 (M V T R)、好ましくは少なくとも $1320 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の水蒸気透過率 (M V T R) と、少なくとも $500 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の静的吸収 (S A)、好ましくは少なくとも $1450 \text{ g} / \text{m}^2 / 24 \text{ 時間}$ の静的吸収 (S A) とを示す、請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

$0.196 \text{ N} / \text{m}$ 未満の 180° 剥離値を示す、請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

第 1 面及び第 2 面を規定する薄膜基材と、
前記第 1 面及び前記第 2 面の少なくともいずれかに配置された請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の接着剤組成物とを含む、接着剤物品。

【請求項 10】

前記接着剤組成物は層として前記基材上に位置し、前記層の厚さは $0.05 \text{ mm} \sim 2 \text{ mm}$ の範囲内である、請求項 9 に記載の接着剤物品。

【請求項 11】

傷治癒を促進する方法であって、
薄膜基材及び前記基材上に位置する請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載の接着剤組成物の層を含む接着剤物品を提供するステップと、
前記接着剤組成物の層が傷に向き、その上に置かれるように前記接着剤物品を傷に塗布するステップと、
を含む方法。

【請求項 12】

前記接着剤組成物は、層として前記基材上に位置し、前記層の厚さは $0.05 \text{ mm} \sim 2 \text{ mm}$ の範囲内である、請求項 11 に記載の方法。